

**製品名: P2RY8 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15604**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	P2RY8
別名	P2RY8; P2Y purinoceptor 8; P2Y8
遺伝子 ID	286530.0
SwissProt ID	Q86VZ1
免疫原	抗血清はヒト P2RY8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 192-241

**背景**

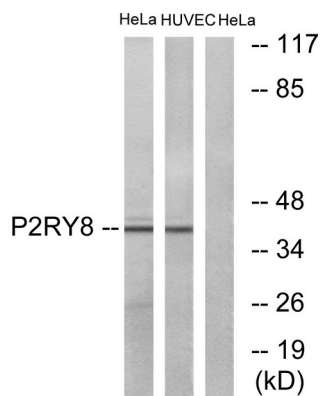
プリン受容体 P2Y8(P2RY8) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アデノシンおよびウリジンヌクレオチドによって優先的に活性化される G タンパク質共役受容体ファミリーに属します。この遺伝子は未分化 HL60 細胞において中程度に発

現しており、X染色体およびY染色体の両方に局在します。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: Gタンパク質共役型プリンの受容体と考えられる。誘導: 顆粒球分化制御中にダウンレギュレーションされる。その他: このタンパク質をコードする遺伝子は、X染色体およびY染色体の擬似常染色体領域1 (PAR1) に局在します。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。組織特異性: 正常白血球ではほとんど検出されません。心臓、腎臓、肺ではより弱い発現が認められました。脳では検出されませんでした。

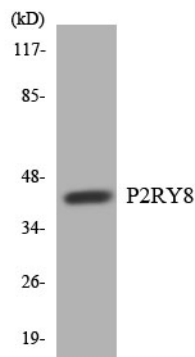
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

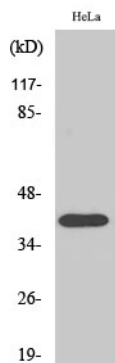
## 画像データ



P2RY8 抗体を用いた HeLa 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



P2RY8 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



P2RY8 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析